

| | | | |
|---|--|---|------|
| 科目名：口腔衛生学Ⅱ〈含、歯科衛生統計〉 | | 必 | 1 単位 |
| (Oral Health & Public Health Ⅱ) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員：戸田真司（実務経験有）、荒川浩久（実務経験有）、宋文群（実務経験有）、中向井政子（実務経験有） | | | |
| 学修目的 | 歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には患者および地域における歯科疾患の予防とコントロールの手法、それに必要な情報収集、診断、活動計画立案、成果評価について修得する。 DP 2（2）に関連する。CP 2に関連する。 科目 No.S2B07H05 | | |
| 到達目標 | 歯科衛生士としての地域歯科保健に関する知識と技術を修得し、地域住民のライフステージに応じた予防と健康増進を支援するとともに、他医療職と連携をとりながら、地域社会で歯科保健活動を実践することができる。 ①歯科疾患の指標を説明できる。 ②歯科疾患の疫学を説明できる。 ③衛生統計の基礎と歯科保健統計を説明できる。 ④地域歯科保健活動の進め方と実際を説明できる。 ⑤ライフステージに対応した地域歯科保健活動を説明できる。 | | |
| 授業概要 | 講義：第1学年で修得した口腔衛生学Ⅰの患者および地域への応用、歯科疾患や歯磨き状況などの指標化、標本推測統計学の基礎、口腔保健に関する国家統計の状況を理解するための学問である。 演習：う蝕・歯周疾患・口腔清掃状態・歯のフッ素症に関する指標の計算、スクリーニングの有効性を示す指標の求め方の演習を行う。 授業は教科書を中心に解説し、必要な資料を配布し、スライドや黒板を適宜使用する。 学生諸氏はシラバスに沿って予習をするとともに、用意された予習課題に取り組む。また、予習課題とともに復習課題を毎回用意するので、授業ごとにできるだけ早いタイミングで事後学習に取り組み、得られた知識を整理し修得する。 | | |
| 評価方法 | 学期末本試験（100 点満点） 授業への参加度および課題の実行度に応じて加点を行う。 授業中の私語や指示のない中での携帯端末の使用など、不適切な受講態度が認められる場合には減点を行う。 試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。 | | |
| 予習・復習時間 | 【予習課題】0.5 時間 【復習課題】0.5 時間 | | |
| 教科書 | 1 年次に購入した歯科衛生士テキスト・口腔衛生学—口腔保健統計を含む—（学建書院） | | |
| 参考書 | 講義中に紹介します。 | | |
| 問い合わせ連絡先 | 戸田真司：月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 4 号館 2 階（戸田研究室） toda.s@kdu.ac.jp 事前にメールをいただけると円滑に対応できます。 荒川浩久 月曜日 16:40～17:00 第2 研究棟 4 階研究室 arakawa@kdu.ac.jp 不在になることが多いので事前にメールをいただけると円滑に対応できます。 宋文群 月～金曜日 16:40～17:00 第2 研究棟 4 階 口腔衛生学第1 研究室 song@kdu.ac.jp 事前にメールをいただけると円滑に対応できます。 中向井政子 月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 3 号館 2 階（中向井研究室） nakamukai@kdu.ac.jp 事前にメールをいただけると円滑に対応できます。 | | |